



ら び っ く La・BOOK

2月号

No.44

明科図書館 常設展示コーナー

明科図書館の館内には、「旧篠ノ井線廃線敷」の写真と散策名所が壁面に掲示してあります。新たに鉄道と廃線敷に関する資料を集めて常設展示コーナーを設けました。

日本の鉄道遺構や廃線は何を語りかけているのでしょうか。鉄道ファンならずとも資料を手にとってご覧ください。

また、調べ方ガイドのパスファインダーもご利用ください。



三郷図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

飛州新道について知りたい

飛州新道(飛驒新道)は江戸時代後期に開かれた、小倉村(現安曇野市三郷小倉)から鍋冠山・大滝山を越えて飛驒高原郷中尾村(現岐阜県吉城郡)に至る飛驒と信州を結ぶ交易の道です。

岩岡村(現松本市梓川)庄屋岩岡勘左衛門英信が考え、以後初代伴次郎、2代目伴次郎、平瀬村直吉、小倉村又重(又重郎)が中心となり、拾ヶ堰の開削による米穀増収の販路や北国筋の産物を安価に求めるため1820年に着工し、1835年に完成しました。伴次郎、又重が身代をなげうち、小倉から上高地までの32キロは着工から10年かかりました。上高地から峠を越え中尾村までの12キロは、1835年飛驒側の許可が下りてからわずか1ヶ月余りで完成しました。富山から糸魚川経由松本へは61里ですが、新道は25里短縮できました。しかし、雪により10月からは山越えができず、常に崩落があり、1860年前後の島々谷の大荒れでは至る所で不通となりました。このため維持が難しく、1861年わずか25年で3代目伴次郎により閉鎖されました。

播隆はこの新道を初めて山登りに利用し、槍ヶ岳を開山しました。(※道名、人名は三郷村誌を参考)

<関係資料>

- 『三郷村誌Ⅱ 第2巻 歴史編上』 三郷村誌編集委員会編 1996
- 『槍ヶ岳開山 播隆』 徳川三寿雄・徳川貞雄著 1982
- 『飛驒新道と有敬舎』 岩岡弘明(発行) 1996
- 『上高地物語』 横山篤美著 1981
- 『上高地物語 続』 横山篤美著 1991
- 『秘録 北アルプス物語』 朝日新聞社松本支局編 1982



私と図書館

(60代 男性)

調べたい(知りたい)ことが出てきた時、図書館に行きます。司書の方に「これを調べたい」とお願いすると、たちどころに関連本数冊を揃えてくれる。笑顔を添えて。司書職はこういう能力も求められることでしょうかと、感心されることしきりです。いつもお世話になり有難うございます。

最近、視聴覚ブースで朗読の参考にCDを聴くのですが、朗読の方法を聴き取るうとしてもストーリーに引き込まれてしまい、気付いて方法聴き取りに戻しても、又、ストーリーの繰り返しになりイライラして、うまく聴けません。どなたか良い方法がありますでしょうか。

私は、サイドラインを引きながら読むため、買った本でないとダメです。お借りして買うかどうか決めるために読みます。買った本を図書館へ持参し、ラインを引きます。読んで



1月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 草雲雀／葉室 麟
- 〃 竈河岸／上江佐真理
- 〃 夜明けの街で／東野圭吾
- 6 英雄の書 下／宮部みゆき
- 〃 王とサーカス／米澤穂信
- 〃 J1元年！松本山雅2015全記録／信濃毎日新聞社
- 〃 ラプラスの魔女／東野圭吾
- 10 明日の子供たち／有川 浩
- 〃 あたしんち 6／けらえいこ 他多数

児童書

- 1 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 〃 バムとケロのそらのたび／島田ゆか
- 3 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 〃 バムとケロのにちようび／島田ゆか
- 5 14ひきのさむいふゆ／いわむらかずお
- 〃 だるまさんと／かがくいひろし
- 7 さるのせんせいとへびのかんごふさん／穂高順也
- 〃 11ひきのねこどろんこ／馬場のぼる
- 〃 バムとケロのもりのこや／島田ゆか

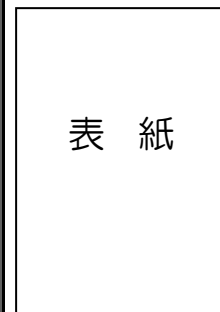
AV資料

- 1 大決戦！超ウルトラ8兄弟／円谷一夫監修
- 〃 のりもの探検隊／NHKサービスセンター他
- 〃 ハウルの動く城／ダイアナ・ウィン・ジョーンズ原作
- 〃 ハリー・ポッターとアズカバンの囚人／アルフォンソ・キュアロン監督
- 〃 魔女の宅急便／角野栄子原作
- 6 安曇野市制施行10周年記念あつみのアルバム／安曇野市役所 他多数

中央図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書 『父娘の絆 三世代警察医物語』



表紙

新津きよみ／光文社文庫
著者は大町市出身で信濃大町観光大使でもあります。東京の大学病院に勤めていた内科医の望月美並は、大町市で祖父の後を継いで警察嘱託医となった。ある日、美並に警察から検死要請がくる。遺体は北アルプスで滑落死したと思われる男性だった。

大町市の仁科神明宮などが登場します。安曇野の風景を思い浮かべながら読んでみてください。

児童書 『てぶくろのふたご』

二宮由紀子・さく フィリケえつこ・え／理論社



表紙

リリカちゃんのふたごのてぶくろとマフラーはいつも一緒にお出かけします。風が吹くとひらひらとなびいてしまうマフラーは、しっかりしているてぶくろのふたごをいつもうらやましく思っています。そんな

ある日公園で大変なことが・・・

小さな子の周りの世界をてぶくろやマフラーの視点から描いたお話。寒い冬でもお出かけが楽しみになる本です。

第154回芥川賞・直木賞

受賞作決定！

芥川龍之介賞

- 滝口 悠生氏 『死んでいない者』
本谷有希子氏 『異類婚姻譚』

直木三十五賞

- 青山 文平氏 『つまをめとらば』

編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-5796
明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)

<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

新聞配達に関するエッセーコンテスト最優秀作を絵本にした『おばあさんのしんぶん』(松本春野／文・絵 原作／岩国哲人)があります。字が読めないおばあさんが、新聞少年に読ませるために、新聞を取り続けるのです。時間をかけて、新聞を讀んでいきたいと思います。